

何気なく入部したアメフト部  
体も心も鍛えられ、今のパワー源に

高校まで特に何をやるわけではなかったが、大学でいきなりアメリカンフットボール部へ。これが軍隊のようなバリバリの体育会系のノリで大変だったという。「勧誘されるがままに何も考えず入部してそれから地獄の日々。だんだんと仲間もやめていきましたね。でも負け犬呼ばわりされているのを見てあななりたくない一心でがんばったんです。結果、4年間最後まで続けてついに一般リーグの東海学生1部リーグで全勝優勝という至福の瞬間を味わえました」と院長室には栄光の写真がいくつも飾られていた。アメフト部では信頼のある人間関係や団体行動を学ぶことができた。大学時代の貴重な経験こそ今の自分の原点であり、全てのパワーの源だと院長は言う。なるほど、ここでこがめ歯科の基本スタイルに通じるのかと思わずにはいられない。

「ただ、できるだけの事を  
精一杯してあげたい」

NO1宣言通り、親身になってくれるとたくさん患者から信頼されている小亀院長。中には、おみやげを持ってきてくれたり歯が痛まなくても話だけで訪れる人もいるそうで、その関係はとてつもなくフレンドリー。患者に対する思いを聞いてみると「患者さんは本当の情報求めているから私も本音でぶつかります。症状によって私より適した医者がいれば紹介だってする。1番大切なことは、ただ、できるだけの事を精一杯してあげたい。そして、やります。以上です」。この精神がいつも心にあるという。ここまで患者のことを考え自分に正直に生きている先生の姿勢、技術だけでない医者本来の姿だと教えられた。最後に「歯で命に関わることはめったにないけれど、やっぱり歯も健康の1部。いくつになってもおいしく食事ができるように予防を心掛けてほしい」とメッセージ。街で人気の歯医者は患者を心から大切に思う院長とスタッフからできていた。



## 小亀先生と一問一答

### ●趣味はなんですか？

グルメ探索。アメフト時代の後輩とよく行きます。

### ●どんな幼少時代でしたか？

兄は優等生だったけど私はできの悪い子でした。

### ●自宅での過ごし方は？

子供と遊びます。3人の娘がいるので。

### ●今ハマっていることは？

健康に関することなら何でも。クロレラとかショウガのエキスとかいろいろ試しました。

### ●医者になったきっかけは？

医者の家系だったんで。兄は内科、歯科がまだいなかったから。

### ●医者をしていて一番嬉しかったことは？

「入れ歯」の治療に力を入れているのですがそれでお年寄りに感謝されることかな。

### ●今後の目標は？

スタッフがここで勤めてよかったと誇りを持つ歯医者にすることです。

①ただ治療するのではなく、虫歯の予防や、正しいブラッシングの方法まで丁寧にアドバイス ②子供からお年寄りまで防げる患者はさまざま ③④和やかムードのミーティング。ピンクのボールを投げて受け取った人が発表するという院長のアイデア

